

いよいよ夏本番、子どもたちはプール、水遊びで気持ちよさそうです。
これからも、猛暑が続きます。水分補給をこまめに行い、体調を崩さないよう
暑い夏を楽しく元気に過ごしていきたいと思います。

水を注ぐ



こんな子どもいませんか？

- ・お茶を飲もうとやかんからコップにお茶を注ごうとしましたが、大量にこぼしてしまいました。
- ・お茶を注ごうとして、やかんのふたが外れたり、やかんがコップにあたって、コップが落ちてしまった。
- ・大きなボトルの中にどれだけのお茶や、ジュースが入っているかをまったく確認せずに、勢いよく持ち上げて注ごうとする。

時代とともに生活様式が変化してきている中で、大きなボトルややかんからお茶やジュースを注ぐという経験が減少していることの影響があるかもしれません。

どうしてそうなるのでしょうか？



様々な形状・大きさの容器からコップに水を注ぐ事は、とても難易度の高い行為だといえます。

こぼさずに注ぐためには、容器をどれくらい傾けたらいいのか、傾けた時には水がどれくらいの勢いで流れ出てるのか、容器の形状・大きさや、実際に入っている水の容器から想像できなくてははいけません。また、容器と机の上に置かれたコップとの距離感も重要です。これらを行えるようになるためには経験が必要です。成功体験も重要ですが、成功できなかった時に、どうしたら成功できるかと考える経験も極めて必要です。

作業療法士の ワンポイントアドバイス



実際にみんなで食事をする場面で、水などの飲み物を注ぐ機会を作ることも重要です。

「本番」で成功体験を蓄積できるよう、あらかじめ練習や意見を積み重ねておきましょう。また、「本番」ではこぼれてもいいように、タオルを用意しておきましょう。「こぼれたら失敗」ではなく、「こぼれたら拭けばよい」「きれいに拭けた」という成功体験にできるからです。

水をたくさん使う

みずを扱う経験は重要です。
多様な容器で砂遊びして、多様な注ぎ方にトライしてみてね。

生活の中に容器を用意しよう
容器から様々な物を取り出す
経験をしましょう。中に入れるものは、なんでもいいです。

地面に水で絵を描いてみて
コンクリートや地面に、水で絵を描いてみて、水の出る量をコントロールすることを経験してね。

ひばり保育園では、毎週月曜日と水曜日に園解放を行っています。
子どもに関するご相談がありましたら、お気軽に、お声掛けください。

子どもと水遊びしながらやってみてね

